

役員所感

直前理事長 保坂 憲彦

「一心果敢」に走り続けた昨年度の活動を糧に本年創立50周年を迎える上越青年会議所がさらに地域へ貢献し、人々の役に立つ組織として発展することを願う。故郷「上越」を想う心でJC運動を展開し様々な経験から自己研鑽と活動を共有することで培う友情を育み、青年会議所でしか味わえない感動を体感して欲しい。我々JAYCEEは地域を元気にし、明るい未来を切り拓く使命があると自覚し、限られた時間を思う存分楽しむべきである。

私自身、昨年度理事長として活動をさせて頂いた経験を活かして、確りと市川理事長を始めとする理事の皆様を支援出来るようにしたい。上越青年会議所49年の伝統文化を念頭にJCの運動理念や指針に外れていないか、理事長所信に則って進められているかなど、特に役員の皆様には、要所で助言をするのが直前理事長としての役割だと自覚している。理事長以下、皆それぞれが役職を一年間担い運営している組織である中で、「役職が人をつくる」と言われるようにどの立場であろうと成長できる機会となることを、理事長職を終えた身として確りとメンバーに伝え、さらに組織の活性化を促すことが必要である。自分も経験したし、毎年のように見てきたが一年間を計画し活動して行く上で必ず壁にぶち当たる時がある。それに逃げずに挑み、苦難を乗り越えられる為の導きを手助けすることも状況に応じて、行わなければならない。だからこそ主体者である各委員長を筆頭に委員会スタッフやそれを導く担当役員が率先して行動し、有意義な活動となることを期待する。それと共に一人でも多くのメンバーが楽しめるような雰囲気づくりを心掛けて活動したい。

節目の本年に上越青年会議所全メンバーが心をひとつにし、地域社会に根差した活動を展開できることを望む。今こそ青年会議所の存在価値を示す時である。全メンバーが素晴らしい時を共有し、最高と思える一年とするべく精一杯協力をする覚悟である。